

第10回

希求、未来への創造

円空大賞展



Atomic Whale
photo © Maki Ohkojima.
Photo by Serge Koutchinsky

Tara sous voiles
photo © Francis.Latreille-
Fondation Tara Océan

Coral Whale
photo © Maki Ohkojima.
Photo by Serge Koutchinsky

Enku Grand Award Exhibition

受賞者

円空大賞 | Tara Océan 財団 
Fondation Tara Océan

円空賞 | 安藤 榮作 ANDO Eisaku
池田 学 IKEDA Manabu
大嶽 有一 OTAKE Yuichi
羽田 澄子 HANEDA Sumiko

2020.1.30 thu. — 3.8 sun.

授賞式・開場式は1月30日 13:30から / 1月30日 14:30開場

開館時間 10:00—18:00 (入場は17:30まで)

休館日 2月3日(月)、10日(月)、17日(月)、25日(火)、3月2日(月)

夜間開館日 2月21日(金)は20:00まで開館(入場は19:30まで)

観覧料 一般 800円(700円) / 大学生 600円(500円) / 高校生以下無料
()内は20名以上の団体料金

※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている方およびその付添の方(1名まで)は観覧無料

主催 岐阜県、岐阜県美術館

後援 円空連合、朝日新聞社、NHK岐阜放送局、岐阜新聞社、岐阜放送、共同通信社岐阜支局、
CBCテレビ、時事通信社岐阜支局、中京テレビ放送機、中日新聞社、中部経済新聞社、
東海テレビ放送、日刊工業新聞社名古屋支社、日本経済新聞社名古屋支社、
フジサンケイビジネスアイ、毎日新聞中部本社、メーテレ、読売新聞社

Nicola_Gyosho
photo © nicolas floch

 岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, Gifu

岐阜市宇佐4-1-22 Tel. 058-271-1313 Fax. 058-271-1315 URL <https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>
Twitter <https://twitter.com/gifukenbi> Facebook <https://www.facebook.com/gifukenbi.jp>

第10回 円空大賞展

希求、未来への創造

1



2



3

4



【作品図版】

- 1 安藤 榮作 《鳳凰》 2016年
- 2 池田 学 《誕生》 2013-2016年
- 3 大嶽 有一 《円・空》 2019年 photo Miyagawa-kunio
- 4 羽田 澄子 《薄墨の桜》 1977年

円空は、江戸時代に美濃国で生まれ、修行僧として全国を行脚しながら生涯に12万体的の神仏像を彫り続けたと伝えられています。岐阜県では、「円空の獨創性や慈愛の精神」を注目すべき本県の個性と捉え、平成11年度より土着の伝統に根ざしながら獨創的な芸術を創造している芸術家を「円空大賞」として顕彰しています。21世紀の円空ともいふべき受賞作家たちの作品が一堂に会する本展は、優れた現代美術展として高い評価をいただいています。

第10回円空大賞展では、円空の生き方を

感じさせる1団体と現代作家4人が選ばれました。

世界を舞台に環境問題の提起につながる調査を続け、海洋が未来のために決定的な役割を果たしていることを、アートを通して次世代に伝えるTara Océan財団(円空大賞)。人・自然・宇宙とのつながりの大切さを訴え、原木や流木を手斧一本で叩き続けてつくられた木彫に、生きる瞬間の感覚を刻み付ける安藤榮作。小さなペンのみの超絶技巧で、ミクロとマクロの両方を同時にもつ獨特の世界観をつくり上

げる池田学。鉄の板を用いて、均整のとれたシンプルなフォルムを追求し、錆びさせることで存在感のある作品をつくり出す大嶽有一。日本の記録映画史に残る監督であり、社会問題や伝統芸能等に関わる人の生き方を美しく記録した羽田澄子(以上、円空賞)。

第10回円空大賞展では、高山の円空仏11体と受賞者の作品が呼応する会場構成を試みます。円空の生き方、願ひ続けたもの、そして、受賞者の希求したものが美しく反応する本展にぜひご期待ください。

展覧会関連イベント

日時、内容等詳細につきましては、岐阜県美術館ホームページにて随時お知らせしていきます。

Tara Océan財団 ワークショップ「日常生活と海の底」

2月1日(土) 15:00-17:00
会場:多目的ホール 要事前申込み、先着20名、無料

池田学 ワークショップ「カードサイズの超絶技巧」

2月2日(日) 11:30-16:00
会場:多目的ホール 要事前申込み、先着20名、無料

羽田澄子 特別上映会「映像の可能性を見つめて」

2月9日(日) 10:30-図書館多目的小ホール(開場は30分前)
「痴呆性老人の世界」、「安心して老いるために」
2月12日(水) 10:30-美術館講堂(開場は30分前)
「古代の美」、「法隆寺献納宝物」、「早池峰の賦」
2月15日(土) 10:15-美術館講堂(開場は15分前)
「山中常盤」、「歌舞伎役者片岡仁左衛門 孫右衛門の巻」
2月22日(土) 10:15-美術館講堂(開場は15分前)
「嗚呼満蒙開拓団」、「遙かなるふるさと 旅順・大連」
2月24日(月) 10:15-図書館多目的小ホール(開場は15分前)
「AKIKO あるダンサーの肖像」、「平塚らいてうの生涯」
事前申込み不要、無料

安藤榮作 ワークショップ「折りの人型を彫ろう」

3月1日(日) 11:30-16:00
会場:多目的ホール 要事前申込み、先着30名、無料

作品鑑賞会

2月1日(土) 13:00-14:30 (Tara Océan財団出品作家による解説)
2月2日(日) 10:00-11:00 (池田学による解説)
2月21日(金) 18:30-19:30 (夜間開館日、展覧会担当者による解説)
3月1日(日) 10:00-11:00 (安藤榮作による解説)
会場:展示室3(展示会場) 事前申込み不要、「円空大賞展」観覧券が必要

ナンヤローネ アートツアー

2月23日(日) 14:00-15:30 受付:13:30-13:55
会場:展示室3、多目的ホール(展示会場)
事前申込み不要、「円空大賞展」観覧券が必要

会期中のその他の催し物

パイプオルガン定期演奏会

2月9日(日)、3月8日(日) 各14:00-
会場:多目的ホール 事前申込み不要、無料

ナンヤローネワークショップ

3月8日(日) 10:30-12:00、13:00-15:00
受付:10:00-11:30、13:00-14:30
会場:アトリエ 事前申込み不要、無料

同時開催

1月9日(木)~3月22日(日)

カラー・マジック 田口コレクションと安藤基金コレクションから
会場:展示室1

※会場の一部は1月12日(日)からオープンします。円空大賞展会期中、同展観覧券の半券にてご覧いただけます。

2月4日(火)~3月22日(日)

[公開制作:2月4日-3月1日 作品展示:3月3日-3月22日]
アーティスト・イン・ミュージアム AiM2020 三輪祐子
会場:アトリエ

【交通案内】

●公共交通機関ご利用の場合

- ・JR東海道本線西岐阜駅南口から南東へ徒歩(約15分)
- ・岐阜市コミュニティバス「県図書館・美術館」下車
- ・西ぎふ・くるくるバス[1日7便、市橋地区循環]JR西岐阜駅南口から乗車(約5分、復路約30分)／すまいるバス[1日8便、三里・本荘地区循環]
- ・岐阜バス(銀島市橋線):JR岐阜駅前(6番乗場):名鉄岐阜駅前(1番乗場)から乗車(約15分)「県美術館」下車

●タクシーご利用の場合

JR東海道本線岐阜駅および名鉄岐阜駅から乗車(約10分)

●自家用車ご利用の場合

- ・名神高速道路 岐阜羽島ICから県庁方面へ北進(約10km)
- ・東海北陸自動車道 岐阜各務原ICから国道21号線を西進(約10km)

●駐車場のご案内

- ・岐阜県図書館地下駐車場、東駐車場、西駐車場をご利用ください。(無料)
- ・車いすをご利用の場合は、美術館東側おもいやり駐車場(6台)をご利用ください。(無料)

